

2017.6 高層へと広がる、

高層専用工法『アスロックNeo-HS』誕生

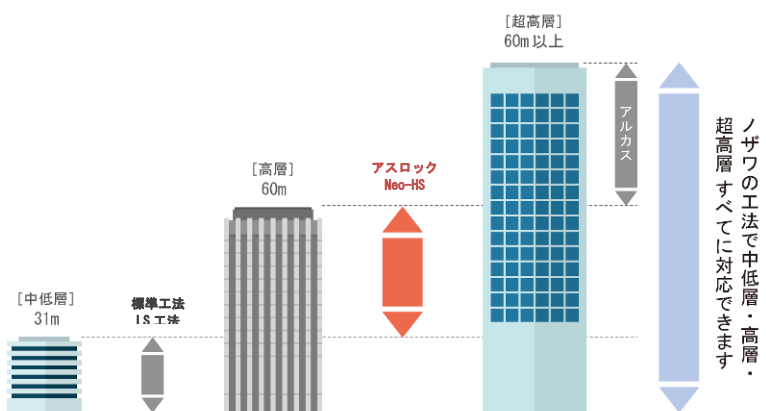
ハイスベック

パネル間目地水密性能 ※
3500Pa (瞬間風速 76m/S 相当)

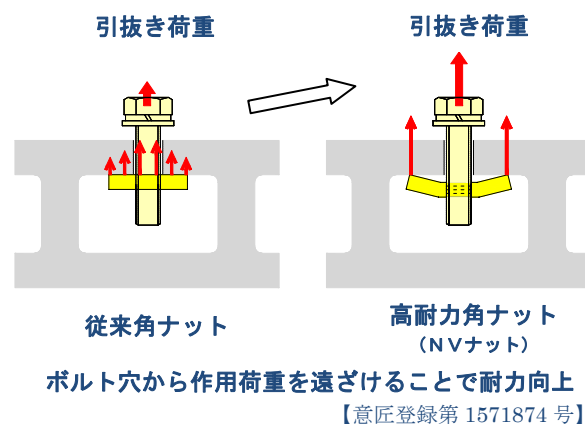
センターロッキング工法採用
耐震性の向上

高耐力角ナット採用
パネル固定耐力を強化

■新基材+新工法で耐久性・安全性向上を実現



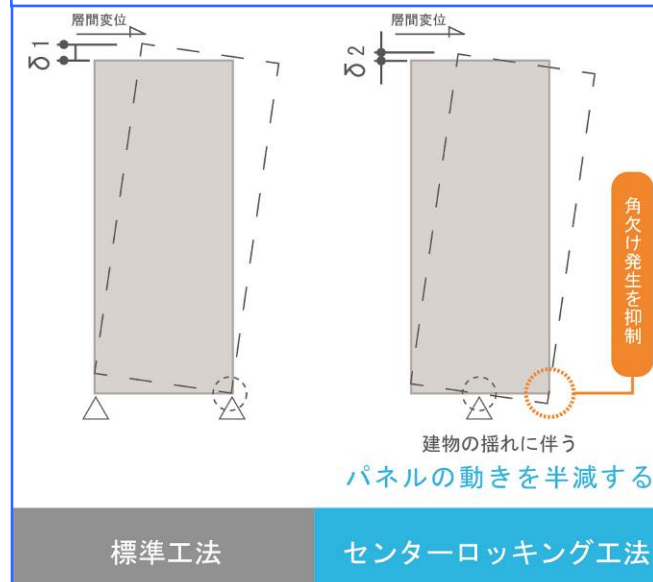
※JIS A 1414-3 5.7 水密性能試験に準拠して実施した結果を基にした、アスロックパネル間の止水性目安値です。水密性能を保証する数値ではありません。



頻発する地震・暴風雨にも耐える安全設計 ハイスベック アスロックNeo-HS

アスロック Neo + 高層新工法はPCより経済的です。

■パネル自体への負担も軽減



パネル下中央部を支点に、パネルがロックンします。層間変位による端部変位は従来の半分になり、地震に対する安全性が向上されました。

検証 実験

～センターロッキング工法～

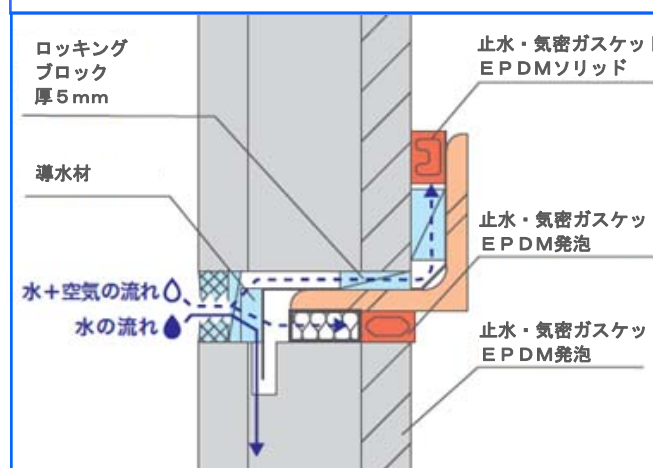


動的面内層間変位試験にて、変位角 1/100rad でパネルの破損・脱落無し。また、1/50rad まで損傷がないことを確認

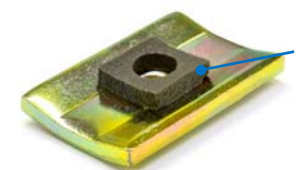
層間変位角 (rad)	試験体の状況	
	パネルの状況	その他の状況
1/100	破損、脱落なし	異常なし
1/75	破損、脱落なし	シーリング材膨れ
1/50	破損、脱落なし	Zクリップの回転

試験機関：(一財) 建材試験センター

■雨を浸入させないための防水処置



止水・気密ガスケットを使用することで、漏水・漏気の防止を強化し、ECP 標準 2次防水工法より約2倍以上のパネル間目地水密性能を発揮します。



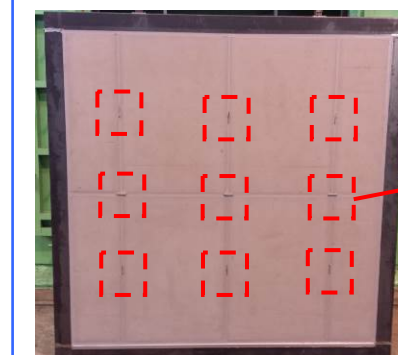
高耐力角ナットに止水パッキンを取付け、留付部からの漏水を防ぎます。

検証 実験

～二次防水工法～

防水構造に関する
特許出願済み

シーリング打設長さ 5%相当の欠損プレートを挿入し、試験体に 4ℓ/min・㎡の水を噴霧した時、最大圧力 3500Pa でパネル間目地から室内側に漏水がありません。



脈動上限 圧力 (Pa)	脈動下限 圧力 (Pa)	平均圧力 (Pa)	漏水状況
3500	2000	2750	漏水なし

試験機関：(一財) 建材試験センター